

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	外傷性胸部大動脈損傷に対する開胸手術および TEVAR の短期・中期成績
研究責任者	心臓血管外科 曹 宇晨／小出 昌秋
研究実施体制	当院のみで実施される後ろ向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 から 2020 年 07 月 31 日 予定
対象者	2001 年 03 月から 2019 年 08 月に当院で手術を行った外傷性大動脈損傷の患者 18 例
研究の意義・目的	諸外国における単施設からの小規模な後方視的観察研究では、外傷性胸部大動脈損傷(BTTAI)に対する急性期における開胸手術(OR)と胸部ステントグラフト内挿術(TEVAR)との比較において、TEVAR 群の方が有意に死亡率・合併症率が低いことが報告されている。しかし、本邦では BTTAI に対する OR と TEVAR を比較した報告はまだきわめて少ないため、今回当院における BTTAI に対する OR と TEVAR それぞれの患者背景と治療成績について検討し報告する。
研究の方法	上記対象者の診療録から術前状態や背景、周術期データ、術後経過および合併症などを抽出し、後方視的に検討する。 本研究に係る資料・情報は、研究終了まで研究責任者の管理の下、外部に漏えいすることのないよう適正に保管する。廃棄する際には、個人を特定する情報が記載されていないことを確認した上で適正に廃棄する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	心臓血管外科 (氏名) 曹 宇晨／小出 昌秋 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日